

社会福祉法人 プラモウト・サークルクラブ

令和 5 年度 事業報告書

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

《目次》

- I 事業及び名称
- II 事業運営
- III 理事会及び評議員会の開催
- IV 公益的な取り組み等
- V 施設利用の状況

I 事業及び名称

1 事業（定款に定められたもの）

- (1) 第一種社会福祉事業 / ・特別養護老人ホームの経営
- (2) 第二種社会福祉事業 / ・老人短期入所事業の経営
 - ・老人デイサービス事業の経営
 - ・生計困難者に対する相談支援事業

2 事業所名称及び事業

(1) 特別養護老人ホーム 坂戸サークルホーム

埼玉県坂戸市石井 1684 番地

- ・法人本部拠点
- ・長期入所 利用者定員 90 名
- ・短期入所 利用者定員 10 名
- ・地域密着型通所介護 利用者定員 10 名
- ・生計困難者に対する相談支援事業

(2) 地域密着型特別養護老人ホーム サークルホームかたやなぎ

※坂戸サークルホームサテライト型施設

埼玉県坂戸市片柳 1431 番 1

- ・長期入所 利用者定員 29 名

(3) 特別養護老人ホーム こぬま 小沼サークルホーム

埼玉県坂戸市小沼 490 番 1

- ・長期入所 利用者定員 100 名

1 総括

(1) 新型コロナウイルスの影響

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症予防と利用者様並びに職員の安全を最優先に事業運営を行った一年となりました。徹底した感染予防のハード対策と感染症予防のための備蓄、職員の感染症に対する意識・行動制限の共有化、利用者様本人・ご家族含めた自粛活動、面会制限のご協力等を実施してまいりました。しかし、残念ながら坂戸サークルホームと小沼サークルホームにおいてクラスターが発生し、職員の感染に伴う出勤見合わせや利用の見合せ、療養入院等、事業運営に多大な影響を及ぼす事態となりました。

(2) 施設運営総括

令和 5 年度は、地域密着型特別養護老人ホームサークルホームかたやなぎ（以下「かたやなぎ」という。）の開設（令和 5 年 4 月 1 日）による新規入所を 6 月で終え、ほぼ計画通りの運営となりました。しかし、坂戸サークルホームと小沼サークルホームにおいては退所者や入院者が例年以上に多く生じ運営稼働率の低下を招きました。

(3) 補助事業の実施

① 特別養護老人ホーム坂戸サークルホーム大規模修繕工事

かたやなぎを令和 5 年 4 月 1 日に創設したことにより、埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金の交付を受けられる資格を得て、埼玉県と補助協議を進めてまいりました。令和 6 年 8 月に補助内示を受けたことから特別養護老人ホーム坂戸サークルホーム大規模修繕工事を実施しました。

工事内容は、老朽化した施設を修繕するために、外壁改修工事、防水改修工事、避難用すべり台塗装改修工事、電気設備改造工事(照明器具交換工事)等を行いました。事業は令和 6 年 2 月 29 日に終了し、令和 6 年 3 月 11 日には埼玉県福祉監査課による完成時検査が実施され指摘事項はなく計画通りに事業完了しました。

工事総額 99,000,000 円
補助金額 86,634,000 円
法人負担金額 14,916,337 円（設計・管理費含）

② 特別養護老人ホーム坂戸サークルホーム ICT 導入事業

上記の大規模修繕に合わせて行う介護ロボット・ICT の導入支援により、埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金の交付を受け、ICT 導入事業を実施しました。この事業は、施設の Wi-Fi 環境を整備し記録業務等をソフトウェア管理する体制を構築するものです。事業は令和 6 年 2 月 29 日に完了し、令和 6 年 3 月 5 日には事業実績報告書を提出し受理されました。

事業総額 12,760,000 円
補助金額 11,600,000 円
法人負担金額 1,160,000 円（消費税は補助交付対象外のため消費税金額）

(4) 地域密着型特別養護老人ホームサークルホームかたやなぎの開設

今次計画施設である地域密着型介護老人福祉施設(地域密着型特別養護老人ホームサークルホームかたやなぎ)が、令和 5 年 4 月 1 日に開設し、計画的に入所を実施して 7 月には満床となりました。大きな介護事故や重大な苦情もなく当初年度としては安定した施設運営となりました。

2 収支決算

令和 4 年度に引き続き、令和 5 年度においても新型コロナウイルス感染症対策の影響を受ける結果となりました。クラスターの発生した時期には、長期入所、短期入所及び通所介護の自主的な事業縮小を実施しました。また、退所者及び入院者が例年以上に生じた結果と合わせて、年間稼働率を下げ介護収入が減少しました。

一方、年間事業として、かたやなぎ開設時の施設運営経費 25,000,000 円、坂戸の大規模修繕工事及び ICT 導入事業の法人負担分 16,076,337 円を支出しました。

Ⅲ 理事会及び評議員会の開催

役員等の定数 理事 6 名・監事 2 名・評議員 7 名

	開催年月日等	主な議題
1	令和5年6月3日 第161回理事会	令和4年度事業報告について 令和4年度決算及び監事監査報告について 理事の選任について、監事の選任について その他
(1)	令和5年6月23日 定時評議員会	令和4年度決算の承認について 理事の選任について、監事の選任について 定款変更（案）について その他
2	令和5年6月23日 第162回理事会	理事長の選定について
3	令和5年8月12日 第163回理事会	坂戸サークルホーム大規模修繕工事の設計及び監理業務委託の契約締結について
4	令和5年8月21日 第164回理事会	坂戸サークルホーム大規模修繕工事の入札方法及び公告（案）について
5	令和5年8月29日 第165回理事会	社会福祉法人プラモウト・サークルクラブ補正予算（案）について
6	令和5年10月4日 第166回理事会	坂戸サークルホーム大規模修繕工事の契約締結について 職務執行の状況報告について
7	令和5年11月2日 第167回理事会	坂戸サークルホーム ICT 導入事業の入札方法及び公告（案）について
8	令和5年12月19日 第168回理事会	坂戸サークルホーム ICT 導入事業の契約締結について 経理規程変更（案）について
9	令和6年1月18日 第169回理事会	小沼サークルホーム給食提供業務委託契約について
10	令和6年3月23日 第170回理事会	令和 6 年度事業計画（案）について 令和 6 年度予算（案）について 職務執行の状況報告について その他

IV 公益的な取り組み等

1 生計困難者に対する相談支援事業「彩の国あんしんセーフティネット事業」

地域における公益的な取組を実施する責務について、この事業を「生計困難者に対する相談支援事業」として定款に定め事業実施を担保しております。

この事業では、当法人にて主に坂戸市全域を担当し、坂戸市福祉事務所並びに坂戸市社会福祉協議会と連携しながら、生計困難者の速やかな支援を実施しております。社会福祉法人の責務を果たす事業として取り組んでおります。

令和5年度の支援実績は、支援延べ件数13件、支援内容は光熱水道費、食料費及び交通費等で支援累計金額392,754円となりました。

2 その他の生計困難者支援活動

自治体や社会福祉協議会、包括支援センター及び病院等から、生活困窮者に対する食品や衣服、生活必需品等の緊急な支援要請に対して、法人独自に必要な物品を随時提供しました。令和5年度においては、10件の支援要請に対処しました。

3 令和5年度坂戸市家族介護教室の開催

高齢者を介護する家族等に対する支援をすることにより介護ストレスの低減を図り、高齢者が安心して暮らせる在宅介護の充実を図ることを目的とする「坂戸市家族介護教室」を坂戸市から委託を受けて、坂戸サークルホームにて令和6年3月9日に実施しました。講師には、「認知症高齢者の支援」としてデイサービスセンター主任相談員、「特別養護老人ホームの入所について」として坂戸サークルホーム副施設長が努め、計21名の坂戸市民の方に参加していただきました。

V 施設利用の状況

特別養護老人ホーム 坂戸サークルホーム 長期入所（多床室・定員 90 名）
 短期入所（多床室・定員 10 名・空所利用型）
 地域密着型通所介護（定員 10 名）

特別養護老人ホーム 小沼サークルホーム 長期入所（個室ユニット型・定員 100 名）
 地域密着型特別養護老人ホーム サークルホームかたやなぎ
 長期入所（多床室・定員 29 名）

坂戸サークルホームと小沼サークルホームにおいて新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しました。このことにより、坂戸サークルホームの短期入所及び長期入所の利用自粛や小沼サークルホームの新規入所受け入れの延期等を行いました。また、クラスターの影響もあり入院者が増加したことに加え、退所者が例年以上に生じたことで、坂戸サークルホームと小沼サークルホームの稼働率を下げる結果となりました。

1 利用状況

(1) 特別養護老人ホーム

※サークルホームかたやなぎは、「かた」と標記する。

① 定員に対する利用率

【特養稼働率】

(少数第二位四捨五入)

	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
坂戸	98.9%	99.6%	99.8%	96.7%	97.6%	97.6%	93.4%
小沼	42.2%	93.3%	98.0%	98.3%	97.1%	95.6%	96.8%
かた	—	—	—	—	—	—	89.3%

※小沼の平成 29 年度は、平成 29 年 2 月 1 日開設により 2 月と 3 月のみ稼働。

※かたやなぎの令和 5 年度は、令和 5 年 4 月 1 日開設。

② 入所

【月別新規入所者人数】

数単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
坂戸	6	3	5	2	7	3	3	0	6	2	5	6	48
小沼	2	2	2	1	1	2	3	4	1	0	3	4	25
かた	18	6	4	2	1	0	0	1	1	0	4	1	38
計	26	11	11	5	9	5	6	5	8	2	12	11	111

【入所前の生活状態】

	在宅	医療機関	高齢者施設等	その他	計
坂戸	10人	19人	19人	0人	48人
小沼	11人	5人	9人	0人	25人
かた	15人	3人	20人	0人	38人
構成比	32.4%	24.3%	43.3%	0	100% 111人

③ 退所

【月別退所者人数】

数単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
坂戸	13	3	7	1	2	4	2	5	4	6	2	1	50
小沼	3	2	1	1	1	5	2	2	2	1	4	0	24
かた	0	0	1	1	0	0	1	0	2	3	2	0	10
計	16	5	9	3	3	9	5	7	8	10	8	1	84

※坂戸の4月は、7名の利用者をかたやなぎへ転所。

④ 介護度

【平均介護度年度推移】

令和6年3月末現在（少数第二位切捨）

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
坂戸	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.0	4.0
小沼	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8	4.0
かた	—	—	—	—	—	—	4.0

【介護度別構成】

令和6年3月末現在（少数第二位切捨）

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
坂戸	0	0	27.0%	46.0%	27.0%
小沼	0	4.0%	23.0%	45.0%	27.0%
かた	0	0	21.4%	57.2%	21.4%

⑤ 利用者の入院

【延べ入院者人数】

数単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
坂戸	0	15	14	24	29	83	102	80	83	73	32	1	536
小沼	45	31	46	17	53	108	28	33	31	25	21	59	497
かた	0	0	0	0	16	13	0	0	12	20	0	0	61
計	45	46	60	41	98	204	130	113	126	118	53	60	1094

※新型コロナウイルスのクラスター発生により坂戸の入院者が増加した。

（前年度対比 52.7%増加。）

※小沼は前年度並みで、令和4年度からの増加傾向を継続した。

※両施設とも、全国的に感染拡大した新型コロナウイルスの影響を受け、8月から年末までの間に入院者が増加した。

⑥ 介護保険負担限度額認定の段階別構成

令和6年3月末現在

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
坂戸	10.3%	18.4%	9.2%	17.2%	44.9%
小沼	0	17.1%	4.0%	23.2%	55.7%
かた	0	17.9%	21.4%	10.7%	50.0%

⑦ 利用者の年齢

令和6年3月末現在

	平均年齢	最高年齢	最低年齢
坂戸	84.2歳	102歳（女性）	51歳（男性）
小沼	85.5歳	103歳（女性）	52歳（男性）
かた	85.1歳	99歳（女性）	70歳（男性）

⑧ 利用者の入所期間

令和6年3月末現在

	平均入所期間	最長入所期間
坂戸	3年02ヶ月	15年01ヶ月
小沼	3年01ヶ月	6年02ヶ月
かた	0年08ヶ月	0年11ヶ月

(2) 短期入所（坂戸サークルホーム）

特養において新型コロナウイルス感染症のクラスター発生や職員の感染等で、利用自粛をお願いしたり、ゾーニングのための居室確保に努める期間が何度かありました。しかしながら、短期入所に対する一定の需要はあるため、感染対策を行いつつも令和6年度は通常稼働に近づけることを目標とします。

また、空床利用型短期入所については、感染症予防対策の徹底のため年度を通じて実施しませんでした。

① 利用率

【定員に対する利用率】

(少数第二位四捨五入)

29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
89.6%	62.7%	83.3%	31.2%	22.0%	45.0%	45.0%

② 利用者実人数及び延べ人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	3	3	2	4	9	6	12	10	6	3	3	8
延べ人数	93	122	106	92	151	152	139	182	176	152	113	84

③ 介護度

【利用者介護度別構成比】

要支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
0	2.2%	4.7%	58.2%	25.2%	9.7%

(3) 地域密着型通所介護（坂戸サークルホームデイサービスセンター）

当デイサービスは通常型で運営しておりましたが、利用者定員を 10 名以下とする地域密着型通所介護に令和 4 年 12 月 1 日から指定変更しました。

近隣中学生のボランティア体験を受け入れ、高齢者介護の理解と交流を図りました。令和 5 年度では 11 回の受入れを行いました。

【利用者数・営業日数等】

	利用延べ人数	営業日数	利用人数／日
令和 5 年度	2,077 人	308 日	6.7 人

【介護度別利用者延べ人数】

総合事業	要支援		要介護度				
	1	2	1	2	3	4	5
17 人	0	0	443 人	727 人	578 人	222 人	90 人

2 職員の状況等

(1) 職員人数

【職員数】 令和 6 年 4 月 1 日現在

単位：人

勤務職 施設	施設長	副施設長	生活相談員	看護職員	介護職員	介護支援員	管理栄養士	機能訓練員	事務員	他の職員	計
	坂戸・特養	1	(1)	2	4	42	2	1	(1)	4	12
坂戸・通所	(1)	0	1	2	7	0	0	(1)	0	1	11
かたやなぎ	(1)	(1)	(2)	3	13	(1)	(1)	(1)	(3)	3	19
小 沼	1	1	1	5	50	1	1	(1)	1	0	61
合計人数	2	1	4	14	112	3	2	0	5	16	159

※()は兼務。職員数にはパート職員を含み、委託業務職員及び派遣職員は除外。

※坂戸・特養には、法人事務、併設短期入所及び調理員等を含む。

(2) 職員研修の実施

感染症対策の研修を中心に、介護事故防止、身体拘束適正化、虐待防止等の研修や委員会活動による研修を以下のとおり実施しました。

身体拘束	身体拘束適正化のための研修
感染症対策	感染症・食中毒まん延防止に関する研修
介護事故防止	介護事故防止のための研修
虐待防止	虐待防止のための研修
痰の吸引	該当介護職員の実施研修
処遇向上	認知症の理解のための研修、看取り介護に関する研修、オンコール体制に関する研修、サービス向上のための研修
法令順守	法令遵守・倫理向上のための研修
災害時対応	BCP計画の理解に関する研修

(3) 資格取得支援の実施

キャリアパス支援として、介護福祉士等の受験対策等に対する業務上の支援を実施し、以下の職員が新たに資格取得しました。

	職種	取得資格	人数
坂戸	介護職員	介護福祉士	2名
かた	介護職員	介護福祉士	1名
小沼	介護職員	介護福祉士	1名
	介護職員	介護支援専門員	1名

3 措置入所

令和5年度は、全施設において措置入所はなし。